

災害拠点病院と広尾病院の活動

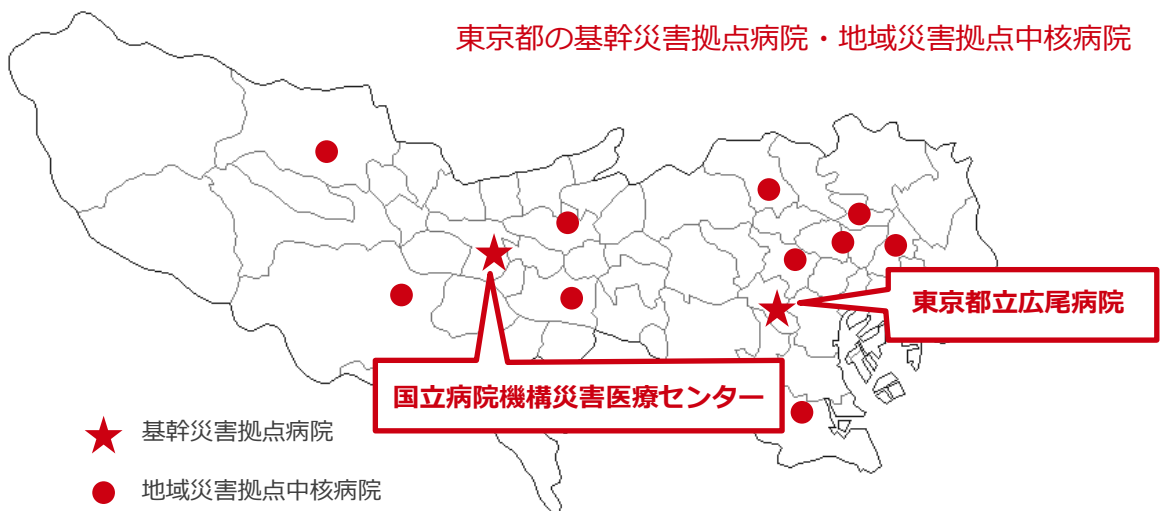
庶務課課長代理（災害対策担当） 小間 彩

災害拠点病院とは

災害時に、主に重症者の収容・治療を行う病院として東京都が指定する病院を、「東京都災害拠点病院」と言います。また災害拠点病院は、医療救護班を被災地に派遣して、病院の外でも医療救護活動を行います。東京都では、災害拠点病院を次の3つに分類しています。

基幹災害拠点病院	地域災害拠点中核病院の役割に加えて、他の災害拠点病院に対して訓練や研修を実施する役割を有します。
地域災害拠点中核病院	地域災害医療コーディネーターを置いて、二次保健医療圏ごとの代表病院として圏内の情報連絡を取りまとめ、地域の医療救護活動を調整します。
地域災害拠点病院	基幹災害拠点病院、地域災害拠点中核病院以外の災害拠点病院のことです。

東京都の基幹災害拠点病院・地域災害拠点中核病院



5月に当院で開催するイベント

- ◆ 看護フェスタ 5月11日（金）10時～13時
血圧・体脂肪・血管年齢測定など
- ◆ 災害豆知識 5月22日（火）11時～12時
災害への備え、災害時の工夫など
- ◆ 都民公開講座 5月24日（木）19時～20時
脳梗塞の治療や予防について



* いずれも開催場所は当院。
* 参加費無料。事前申し込み不要。

広尾病院の活動

広尾病院は、立川市にある国立病院機構災害医療センターとともに、**東京都の基幹災害拠点病院**に指定されています。東京都に2つだけ、23区では唯一の基幹災害拠点病院として、普段から他病院に対する研修のほか、防災訓練の支援などにも力を入れています。



▲ 病院職員も対象にした災害対応研修



▲ 広尾病院総合防災訓練の様子

また、発災時には自病院だけでなく地域全体の医療機能を支えるため、他病院と連携した医療対策拠点としての訓練も実施しています。

災害時にけがをしたら

発災時の病院は、役割分担をしています。広尾病院のような災害拠点病院は、主に重症者の治療を行います。一方で、主に中等症者を治療する災害拠点連携病院、専門医療や慢性疾患を担う災害医療支援病院もあります。

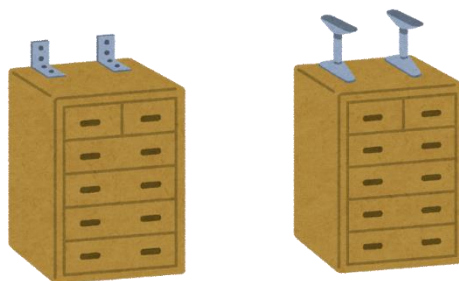
では、災害時にけがをしてしまったら、どの病院に行けばいいのでしょうか。

まずは、**お住まいの区市町村の「緊急医療救護所」または「医療救護所」**を目指しましょう。発災直後に、主に地域の診療所・クリニック等が主体となり災害拠点病院等の近くに開設されるのが緊急医療救護所、発災から時間がたち、落ち着いてきたところに避難所に併設されるのが医療救護所です。まずは、これらの医療救護所等にかかることで、軽いけがなら治療してもらえますし、別の病院に搬送した方がよいかどうか、重症度などに応じて判断（トリアージ）をしてもらえます。

医療救護所等の場所については、お住まいの区市町村のホームページ等広報資料で公開されていますので、事前に確認しておきましょう。

何よりもけがをしないこと

災害時には、どうしても通常どおりの医療を受けることが難しくなります。何よりもけがをしないために、普段から生活の中でできる対策を進めましょう。



｜発行｜東京都立広尾病院広報委員会

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿2-34-10 電話番号03-3446-8331（予約専用）

URL <http://www.byouin.metro.tokyo.jp/hiroo/>